

完了後の評価個表

整理番号	13
------	----

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	長野県
地域（地区）名	伊那谷 ^{いなだに}	事業実施主体	県、市町村、森林組合等
関係市町村	飯田市ほか 27 市町村 ^{いだし}	管理主体	県、市町村、森林組合等
事業実施期間	H23～H29 年度（7年間）	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>本地区は、長野県の中南部に位置し、諏訪、上伊那、南信州の 28 市町村を包括する。</p> <p>本地区の森林面積は 324 千 ha（森林率 81%）、事業の対象となる民有林は 249 千 ha（森林全体の 77%）、うち人工林は 129 千 ha（人工林率 52%）であり、人工林の樹種別面積割合はカラマツが 47%と一番多く、次いでヒノキが 25%となっている。</p> <p>本地区の森林は戦後の拡大造林を主体に蓄積が年々増加しており、森林の齡級構成のピークは 13 齡級と森林資源は充実している。間伐及び主伐が必要な林分は人工林の 90%にあたる 116 千 ha 存在し、間伐や伐採後の植栽、保育等の森林施業を適確に実施し健全な森林を育成することが喫緊の課題となっている。</p> <p>本事業は、利用期を迎えた森林資源を有効に活用しつつ、水源涵養機能や土壌保全機能等といった森林の有する公益的機能を持続的に発揮させるために必要な、搬出間伐や伐採後の植栽、保育等の森林整備と併せて、これらの効率的な実施及び木材等生産機能の維持増進を図るための路網整備を実施したものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> 森林整備 16,118ha <li style="padding-left: 20px;">人工造林、下刈り、除伐、間伐、森林作業道整備等 路網整備 8,426m <li style="padding-left: 20px;">林道開設、改良 ・総事業費 8,817,446 千円（税抜き 8,283,095 千円） <p>（平成 22 年度の評価時点 11,880,575 千円）</p>
----------	--

<p>① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化</p>	<p>令和5年度における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益及び総費用と完了後の評価で算出した総便益及び総費用との差異については、費用便益分析で使用する単価の変化や現場条件や地域の要望を踏まえ優先度の高い箇所から実行したことに伴う路網整備の追加等事業量の変動等によるものである。</p> <p>総便益 (B) 131,832,845 千円 (平成22年度の評価時点 113,832,590 千円※)</p> <p>総費用 (C) 13,747,957 千円 (平成22年度の評価時点 19,869,411 千円※)</p> <p>分析結果 (B/C) 9.59 (平成22年度の評価時点 5.72※)</p>
<p>② 事業効果の発現状況</p>	<p>間伐等により 16,118ha の森林が整備され、水源涵養や土壌保全等といった森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。また、高性能林業機械の導入等により効率的な作業が行われ、木材が安定的に供給された。</p> <p>林道の開設、改良によって 8,426m の路網が整備され、車両が通行可能となったことにより、森林整備事業地までの通勤時間の短縮や資材運搬等が容易になった。また、大型車両による木材運搬が可能になり、事業地からの搬出距離が短縮され、木材生産経費の縮減が図られた。</p> <p>森林整備、路網整備事業の発注により雇用の場が提供され、地域経済の振興に貢献した。</p>
<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<p>整備された森林は、森林経営計画等により継続して適切に管理されており、良好な管理状況にある。</p> <p>整備された路網は、草刈りや路面の補修等を行っており、維持管理状況は良好である。</p>
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<p>森林整備の実施により健全な森林が育成され、水源涵養や土壌保全、木材の安定供給等といった森林の有する多面的機能が発揮されている。</p>
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>本地区の人口は漸減傾向にあり、令和3年度の林業従事者数は482人と平成29年度の493人から減少している。</p> <p>こうした状況の中、林業の現場では、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コストで効率的な作業システムの普及を進めている。実際、本地区の令和元年度末の高性能林業機械の保有台数は86台と平成29年度の28台から大幅に増加している。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>本地区は、森林資源が充実する一方で若齢林が少ない状況にある。このため、利用期を迎えた森林資源を有効活用しつつ、森林の有する公益的機能を持続的に発揮させていくためには、伐採と造林の一貫作業システムの導入やエリートツリーや大苗等の植栽による下刈り回数の削減等を進め、省力かつ低コストの造林体系を確立することで、確実な再造林を促進し齢級構成の平準化を図ることが必要となっている。</p> <p>地元の意見： <small>おかや</small> (岡谷市ほか14市町村)</p> <p>森林整備事業の実施により、土砂流出の防止や水源涵養機能等の公益的機能の発揮に寄与していると考えている。森林資源が充実している中で、若齢林が少ない状況にあることから、今後は、再造林も含めた計画的な森林整備を実施し、森林の有する多</p>

面的機能の継続的発揮に努めていただきたい。また、主伐再造林に向けた苗木の安定的な供給への取り組みや森林所有者の費用負担の軽減となるよう、高性能林業機械の導入や造林の低コスト化に向けて取り組み、林業従事者の雇用の確保に向けた取り組みを推進していただきたい。

ふじみまち
(富士見町)

安定的に森林整備が継続するよう予算の確保に努め、森林の多面的機能が持続的に発揮できるよう、手入れの遅れている森林の間伐の推進の他、生産性の高い森林での主伐再造林による若齢林の創出にも力を注いでいただきたい。

また、補助事業に係る書類等のスリム化により森林所有者や林業従事者の負担軽減や現在不足している林業事業者への支援、林業従事者の雇用確保に向けた取組も推進していただきたい。

(伊那市)

林業の成長産業化の実現と、地球温暖化防止など森林の有する公益的機能の持続的な発揮のため、間伐、主伐・再造林等の森林整備事業及び路網整備事業が計画的に実施される必要がある。

現在、外国産材の輸入が厳しくなる中、地域材への期待が高まっており、森林整備の推進を通じ、安定供給体制の確立を図りたい。また、林道については、森林整備に必要なことに加え、低炭素社会への貢献を図るとともに、地域林業の振興、山村地域の生活環境にも大きく寄与することから、路網整備を一層推進していただきたい。

まつかわまち
(松川町)

森林の多面的機能発揮のために、森林整備をすることは重要であり森林整備面積は徐々に増えつつあるが、森林整備に関する知識に欠けている森林所有者が多いため、保育面、主伐再造林に係る一連の工程を所有者に周知してもらう必要がある。

そのため、森林経営管理制度に代る行政側での管理や、普及啓発等を行っていく必要があり、恒久的な森林の管理ができるようソフト面での対策をしていく。

評価結果	<p>必要性： 水源涵養や土壌保全等といった公益的機能を持続的に発揮させるためには、搬出間伐や伐採後の植栽、保育等の森林整備が必要であるため、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 森林整備では現地の状況を踏まえた効率的な作業システムの導入により、また、路網整備では集材効率の悪い箇所に路網を開設することによりコスト縮減が図られており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 森林資源の現状や路網の整備状況を踏まえた計画的な事業の実施により、森林の有する多面的機能が向上し、引き続きその効果が継続されていることから、事業の有効性が認められる。</p>
------	--

※平成 22 年度評価時点における数値について、消費税を含んだ数値である。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

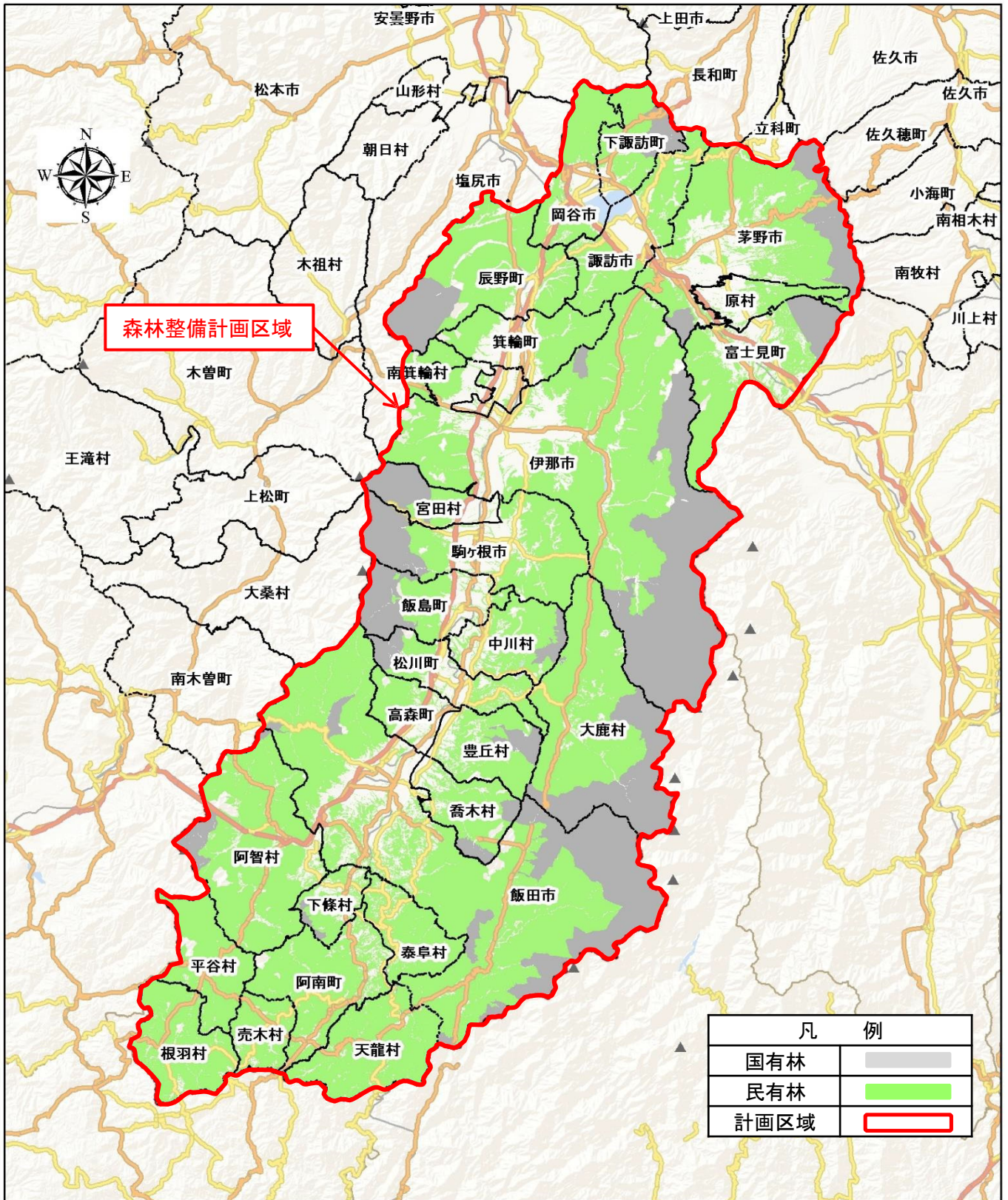
都道府県名：長野県

地域(地区)名：伊那谷

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	31,506,852	
	流域貯水便益	10,382,699	
	水質浄化便益	40,776,982	
山地保全便益	土砂流出防止便益	36,706,503	
環境保全便益	炭素固定便益	983,823	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	3,172	
	木材利用増進便益	679	
	木材生産確保・増進便益	9,363,176	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	6,661	
	森林管理等経費縮減便益	34,642	
	森林整備促進便益	60,487	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	1,943,408	
維持管理費縮減便益		63,761	
総 便 益 (B)		131,832,845	
総 費 用 (C)		13,747,957	
費用便益比	$B \div C = \frac{131,832,845}{13,747,957} = 9.59$		

森林環境保全整備事業 伊那谷流域（長野県）概要図



1:500,000

0 5 10 20 30 40 50 km